

4. 今後の課題

【今後の検討課題】

- 長期目標は、ある程度の柔軟性を持った目標として捉えることが必要であり、今後の更なる科学的知見の充実に対応し、継続的に検討を加えていくことが必要である。
- 安定化濃度、気温上昇、排出パスに関わる不確実性要因を考慮した解析や、排出ピークやオーバーシュートなど段階的、複合的な目標を設定した場合の解析も検討が必要である。
- 地球規模で求められる排出削減量を達成するために、各国がどのような役割を果たすかについては、政策的な判断や日本としての戦略が求められるため、今後の検討課題である。
- 生態系や農業への影響を考慮すれば、気温上昇の大きさだけでなく、変化の速度についても留意することが必要であり、速度についての検討も課題となる。